

# 福祉サービス第三者評価事業 評価結果報告書

評価機関：一般社団法人香川県福祉サービス評価機構

実施年度：令和5年度

施設種別：保育所

施設名称：社会福祉法人福井保育協会 福井保育園

(保育所版)  
(別記)

## 福祉サービス第三者評価結果公表事項

### ①第三者評価機関名

一般社団法人香川県福祉サービス評価機構

### ②施設・事業所情報

名称：福井保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：理事長 渡辺 範男	定員（利用人数）：150名（173名）	
所在地：高知県高知市福井町 2031-8		
TEL：088-872-1141	ホームページ： <a href="https://www.ans.co.jp/n/fukui/">https://www.ans.co.jp/n/fukui/</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：昭和47年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 福井保育協会		
職員数	常勤職員：27名	非常勤職員：11名
専門職員	（専門職の名称）	名
	保育士：26名	栄養士：3名
	社会福祉士：1名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室：8室、子育て支援室・調理室：各1室ほか	園庭：鉄棒、雲梯、すべり台、アスレチック遊具ほか

### ③理念・基本方針

#### 【保育理念】

子どもの最善の利益を考え、子どもの心を大切にし、常に子どもの視点に立って保育をおこなう

#### 【保育目標】

- ・心身ともに健康で元気な子ども
- ・友だちとなかよく遊ぶ子ども
- ・自分で考えて行動する子ども
- ・物事に対して心を動かす子ども
- ・約束を守り楽しく生活のできる子ども
- ・自然となかよくできる子ども

### ④施設・事業所の特徴的な取組

#### ○自然活動（森で遊ぼう）

年長組、年中組を対象に、毎年5日間実施している。

初めて出会う昆虫や草花に興味を持って調べたり、地図を見ながら新しい道を進んだり、野いちごやコウモリを発見することもできたりと山ならではの体験を楽しんでいる。友だちと励まし合い、目的地に到着するとやり遂げた達成感を感じられ、子ども

の自信を培う行事の一つである。

○畑活動

園舎の前に畑があり、一年間を通して野菜の栽培や収穫を楽しめる環境になっている。子どもは、季節の草花や昆虫に触れたり、自然物を使ったままごと遊びを楽しんだりする中で、昆虫を大切にしようという気持ちを育み、食べ物への関心を深めることができる。

○お年寄りの方との交流

近隣のお年寄りと一緒に運動会をしたり、切り干し大根作りに挑戦したりと、地域との交流を行っている。子どもは、お年寄りとの交流を通じて自分から声を掛けて仲良くなったり、歩く時には手を添えてあげたりといった思いやりの気持ちや主体性が育まれる重要な機会となっている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年6月19日（契約日） ～ 令和6年3月5日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初受審

⑥総評

◇特に評価の高い点

【子どもがのびのびと過ごすことができ、主体性や共感力を育めるよう、日々の丁寧な見守りと様々な体験活動を行っている】

園全体で子どもの意思を尊重して丁寧に見守る意識が醸成されており、利用者調査からは、職員が細かく子どもの様子を見ていることによって、保護者は安心して子どもを預けられている様子が伺われた。

自然活動や畑活動等の様々な体験活動を通じて、子どもの主体性や他者を思いやり共感する心が育まれるよう保育を展開している。

畑活動については、自然と触れ合う体験だけでなく、季節の野菜を栽培・収穫して、給食として提供されることで、子どもが食を楽しみ歓心を持てるような食育を展開している。

◇改善を求められる点

【保護者の意向を把握する方法について、より効果的な取り組みを期待したい】

保護者からの苦情や要望については、職員と保護者との日々のかかわりや保護者会・面談等の機会において把握し、解決や改善にあたっているが、園の方針に揺れが生じることを懸念して、アンケート調査の実施や保護者の要望を積極的に保育に反映させることには抵抗を感じている。今後は、理念の実現に向けて、より質の高い保育を実践できるよう、保護者の意向把握について新たな取り組みがなされることを期待したい。

(保育所版)

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回初めて、第三者評価を受審させていただきました。

自己評価から、訪問調査による第三者評価を通して、法人・保育所運営における課題点等も明確になってきたように思います。訪問調査時にもたくさんのご助言を頂きましたので、今後の法人・保育所運営に活かしていきたいと思います。

また、保育において評価を頂いた点に関しましては、日頃の職員の保育への取り組みに対しての評価であると感じておりますので、これを励みに今後もなお一層子ども一人一人を大切にした保育に取り組んでいく所存でございます。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

## 第三者評価結果

※すべての評価細目について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

### 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>年度初めの職員会議では、必ず理念や基本方針について職員に周知してからマニュアルや全体的な保育計画等の説明を行っており、全職員が共通認識を持てるようにして、普段から職員会にて確認も行っている。保護者には、理念や方針を記載した園のしおりを配布し、新入児保護者会にて口頭で説明している。</p>		

#### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>入園希望の園児数の推移や保護者の要望、園が位置する地域の特徴や変化を把握・分析し、継続して事業運営ができるよう、理事会において経営状況とその課題を検討している。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>理事会において検討された経営課題については、職員に周知し、職員からの意見を取り入れて改善に努めている。職員配置やクラス編成等、課題の解決に向けて具体的な取り組みを進めている。</p>		

## I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>中長期計画を策定し、それに基づいて保育観の共有や目標設定・運営を行っている。今後は、期間中における見直しの時期や方法を検討し、実施状況の適切な把握や見直しについてさらなる取り組みがなされることを期待したい。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>中長期計画をもとに、単年度の計画を策定している。また、単年度の計画は、毎年決められた時期に評価と次年度の策定を行っている。今後は、評価や見直しにおいても数値化するなど、出来る限り定量的な分析を実施することによって、より実効性の高い計画が策定されるよう期待したい。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事業計画の実施状況はあらかじめ決められた時期と手順によって把握されており、適切に評価と見直しを行っているが、同じ課題が翌年度に持ち越されることが続く場合がある。今後は、そうした課題を中長期計画に反映させる等の取り組みにより、なお一層実効性の高い改善策が実施されることを期待したい。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事業計画や事業報告は、園のホームページに掲載しており、全保護者には入園のしおり配布する際に事業計画を配布している。事業計画の主な内容を保護者会等で説明しており、保護者から理解を得られるよう努めている。</p>		

## I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>第三者評価については今回が初受審となるが、職員が参加して毎年自己評価を実施しており、自己評価によって得た気づきを保育に反映させている。今後も、引き続き自己評価を実施し、さらに第三者評価制度を活用することで、より一層保育の質の向上がなされることを期待したい。</p>		

(保育所版)

9	I-4-(1)-② 評価結果に基づき保育所として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>評価結果から得た課題について、全職員が参画して改善策や改善計画を策定しようとしている。それらを策定した後についても、実施状況の確認や計画の見直しを行いながら、計画的な改善策が実施されることに期待したい。</p>		

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長は、平時や緊急時における自らの役割と責任について文書化し表明しており、職員はそれを理解している。園長は、職員会や日々の職員とのかかわりの中で、理念や方針の実現に向けた経営や管理に関する方針について周知を図っている。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育所として遵守すべき基本的な法令等について、外部研修に積極的に参加して、正しく把握・認識するよう努めている。また、その取り組みにおいて知り得た情報は、印刷物にまとめて口頭で説明し、職員にその都度周知・共有している。</p>		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長は、園舎の巡回や保育参加によって、保育の様子を把握している。職員の考えを尊重しつつ個別的な助言・指導を行い、保育の質の向上に意欲を持ちその指導力を発揮している。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長は、経営の改善や業務の実効性の向上について、職員と話し合いながら対応策を策定しており、組織内に同様の意識が醸成されている。園長は、改善の実施にあたっては、自らもその活動に積極的に参画している。</p>		

## Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>人材育成について、研修計画の策定・実施や個別目標の設定・個別面談の実施等、理念や基本方針の実現に向けて計画的な取り組みを行っている。人材確保については、人材不足により職員に負担が発生する場合があります。今後は、人員配置や採用についてもより効果的な取り組みが行われることを期待したい。</p>		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長は、年に2回個人面談を実施して職員の意向・意見を把握し、一定の人事基準に基づいて評価・分析を行っている。特に研修については、職員の希望に応じて研修機会を確保し、保育の質の向上に努めている。研修、聴き取り、評価、分析等の方法によって総合的に人事管理を行っている。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長や主任保育士は、日ごろから意識して他の職員に声掛けしており、職員同士が相談しやすい雰囲気作りに努めている。日々の関わりや面談を通じて、各職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長は、個人面談を実施して各職員の個人目標の達成や取り組みの状況を把握し、評価を行っている。中長期計画や単年度の事業計画において人材育成の課題や目標を明確に定め、個々の職員の育成に努めている。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>毎年、職員個別計画表を策定し、職員は、県内外の外部研修や園内の研修を受講している。受講した内容を職員間で共有したり、保育に反映させたりと、研修の成果を効果的かつ実効性のあるものとして活用している。</p>		



(保育所版)

19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	㉠・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>各職員の課題や要望に応じた研修機会を確保し、職員個別計画表に明記している。県内外の外部研修の受講を奨励したり、園内でもテーマを決めて研修を実施したりと、教育・研修の機会を十分に確保している。</p>		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・㉡・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>実習生受け入れマニュアルを整備し、実習生が保育を実践し学べるよう体制を整備している。今後は、実習担当職員に対する支援体制や指導方法を文書化する等、実習生がより深く保育を学べるよう、さらなる取り組みに期待したい。</p>		

### II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・㉢・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ホームページにより、事業計画等の経営に関する事項や日々の保育を積極的に公開している。今回は初めての第三者評価受審のため、評価結果の公表についても前向きに検討されることを期待したい。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・b・㉣
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>会計事務については主に園長が担っており、必要に応じて外部の専門家の助言や指導を受けているが、他の職員が携わる機会は少ない。今後は、園内での定期的な確認や外部監査等、より公正かつ透明性の高い経営や運営をするための積極的な取り組みに期待したい。</p>		

### II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・㉤・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>近隣の高齢者施設との交流や社会体験等の地域交流を積極的に行っている。今後は、子どもや保護者に役立つ地域の社会資源の情報収集や、家庭の需要に応じてそれを提供する等、子どもが地域との交流を広げられるようなより一層の取り組みに期待したい。</p>		

24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・ <b>㉔</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ボランティアの受け入れに関するマニュアルを整備し、中学校の職場体験や養成校のボランティアを受け入れている。今後は、地域の学校教育等への協力体制や受け入れ時の事前説明等についても文書化する等、園全体で共通認識を持ち、教育機関以外からも積極的な受け入れ態勢ができるような取り組みに期待したい。</p>		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	<b>㉕</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>個々の子どもの状況に対応できる社会資源を把握し、職員間で共有している。虐待や障がい等子どもの個別的な実情に応じて、関係機関・団体とのネットワークを有効活用し、課題の把握や解決に尽力している。</p>		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	<b>㉖</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>関係機関との情報共有のほか、地域住民を対象に園庭開放や相談事業を行うことによって、地域住民の福祉に対する需要の把握に積極的に努めている。市の社会福祉協議会の相談支援事業の地域の窓口となり、多様な相談に応じる機能を有している。</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等に基づく公益的な事業・活動が行われている。	a・ <b>㉗</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園庭開放や相談事業を実施しているほか、他法人とも連携して公益的な取り組みに努めている。津波が来ないとされる地域であるが、今後は、地域住民への防災の意識啓発や情報発信を行う等、地域の福祉施設としてより積極的な取り組みがなされることを期待したい。</p>		

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	<b>㉘</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育理念には子どもの最善の利益を第一に掲げており、保育方針や全体的な計画等すべてにおいて子どもを尊重した保育が実施されるよう努めている。園全体の最優先事項であることを常に職員間で確認し、職員は、日常的な保護者との会話の中でも伝わるように十分に配慮している。</p>		

29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等に配慮した保育が行われている。	a・ <b>③</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>個人情報保護に関する規程およびマニュアルを整備する、保護者の同意書を取る等、設備・保育実践のいずれにおいても子どものプライバシーが保護されるよう配慮しているが、その取り組みは保護者に十分に理解されていない。今後は、園だよりや保護者会等の今ある仕組みを活用して園の取り組みについても保護者に発信されることを期待したい。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・ <b>③</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>理念や基本方針および日々の保育内容が明示された内容を、ホームページにて公開している。見学の希望があった場合は、見学時にしおりを用いて丁寧に説明を行うことで、利用希望者が園の雰囲気や保育内容を十分に把握したうえで入園を決定できるよう努めている。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a・ <b>③</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>入園時には入園説明会を開催し、市が作成した文書だけでなく、園で作成した文書も用いて丁寧に説明している。進級時にも、進級前にクラスだよりで必要な事項を説明している。今後は、特に配慮が必要な保護者に対する説明方法についても検討し、より十分に保護者からの理解を得られるような積極的な取り組みに期待したい。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・ <b>③</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>転園時は市を通して必要な情報を提供することとしている。今後は、保育の利用を終了した家庭や転園した家庭も相談に応じられることを周知されるよう、文書や体制の整備に積極的に取り組まれることを期待したい。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取り組んでいる。	a・ <b>③</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>日々の保育を通じて子どもの満足度を把握するよう努めており、保護者に対しても、送迎時や懇談会・保護者会等で聴き取りを行っている。園の方針に揺れが生じることを懸念して、アンケート調査の実施や保護者の要望を積極的に保育に反映させることには抵抗を感じているが、理念の実現に向けたより良い保育の実施のためにも、今後の積極的な取り組みに期待したい。</p>		

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>苦情解決の体制を整備し、園内に掲示して保護者に周知している。職員は、日々の保護者とのやり取りを通じて保護者の些細な変化に注意するよう努めており、苦情があった場合には職員間で共有し検討しながら保護者対応にあたり解決している。今後は、苦情箱の設置やアンケートの実施についても前向きに検討されることを期待したい。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員は、日々保護者が話しやすくなるような雰囲気作りや良好な関係構築に努めている。今後は、保護者が方法や相手を選択して相談や意見を述べられるよう、保護者からの要望を収集するための仕組みについても、より一層積極的な取り組みが行われることを期待したい。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保護者から寄せられた苦情や要望等については、担任の職員が中心となって迅速に対応することとしており、内容によっては園長や主任職員に指示を仰いで組織的に対応にあっている。今後は、保護者からの相談や意見を意識的に聞き取るよう努め、また必要に応じて即応できるよう、より積極的な取り組みが行われることを期待したい。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長がリスクマネジメントの責任者となり、感染症や誤嚥事故等それぞれの保育場面における危機を想定したマニュアルを整備し、研修や訓練を行うほか、必要に応じて職員会でリスクマネジメントの現状について検討や周知を行っている。ヒヤリハット等の事例を収集した場合は職員間で共有し、原因分析と改善策・再発防止策等の実施と研修を行っている。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもの安全確保のための研修に参加して職員間で共有し、感染症が発生した場合は状況を掲示して保護者にも注意喚起を行っている。嘔吐物の処理や感染症対応等のマニュアルを整備しているが、今後は、マニュアルの見直しや管理体制の明文化等、子どもの安全確保のためのより実効性の高い取り組みに期待したい。</p>		

(保育所版)

39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>設備類の点検や災害発生時の職員体制、安否確認等の連絡手段や避難経路等を定め、定期的に訓練を行っている。今後は、防災計画やマニュアル等の書面についても見直しを行う、安否確認の訓練を実施する等、災害を想定したより積極的な取り組みに期待したい。</p>		

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>全体的な保育の計画から各クラスの年間計画・月案等の詳細な保育計画を策定し、標準的な実施方法を明文化している。年齢別のデイリープログラムを策定し、各職員の共通理解のもと保育を提供している。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育の実施方法を見直す場合は、保育の質の向上に質するものとなるか検討し、職員の意見を反映させたうえで実施することとしている。職員は、保育計画を策定する都度、振り返りを行い、より質の高い保育の実施方法について検討している。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントに基づく指導計画を適切に作成している。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>クラス担任が日々の保育を通じて子どもや保護者の心身の状況や家庭の様子を把握することによりアセスメントを行っている。アセスメントの結果と全体的な保育の計画に基づき、指導計画や個別計画を適切に策定している。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>策定した指導計画については、職員会において期毎の振り返りを行い、課題を明確にして改善に繋がるよう次期の計画を策定している。あらかじめ決められた時期と手順によって、指導計画を適切に評価・見直ししている。</p>		

(保育所版)

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育の実施状況は、統一した書式と方法によって記録している。全職員が一人ひとりの子どもの様子を把握できるよう、記録の確認や職員会での伝達によって職員間で意識的に共有している。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・Ⓑ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>記録文書の保管方法を含めた個人情報の管理について定めた規程を策定し、規程に基づき園長が中心となって管理や保管を行っている。今後は、各職員が個人情報保護の観点からも高い意識を持って記録文書を取り扱えるよう、より一層の取り組みに期待したい。</p>		

**A-1 保育内容****A-1-(1) 全体的な計画の作成**

	第三者評価結果
A① A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	Ⓐ・b・c

## 所見欄

全体的な計画は全職員の参画のもと作成することとしており、その内容は保育理念や保育目標を理解したうえで、子どもの心身の発達や家庭および地域の実態を適切に捉えた継続性のあるものとなっている。全体的な計画は、必要に応じて評価・見直しを行い、次の作成に活かしている。

**A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開**

	第三者評価結果
A② A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	Ⓐ・b・c
A③ A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	Ⓐ・b・c
A④ A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	Ⓐ・b・c
A⑤ A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	Ⓐ・b・c
A⑥ A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
A⑦ A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
A⑧ A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
A⑨ A-1-(2)-⑧ 障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・Ⓑ・c
A⑩ A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・Ⓑ・c
A⑪ A-1-(2)-⑩ 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a・Ⓑ・c

(保育所版)

所見欄

子どもが心地よく過ごすことのできるよう、衛生面や玩具、保育室の設備の配置等に配慮し、物的環境の整備を行っている。園全体で一人ひとりの子どもを見守ることを意識しており、利用者調査からは、保護者が安心して子どもを預けられている様子が伺われた。

基本的な生活習慣については、一人ひとりの状態に合わせて獲得できるよう、子どもの意思を尊重しながら保育を実施している。

子どもの主体性や共感力を育めるよう、自然活動や畑活動等の様々な体験活動を保育に取り入れている。

特別な支援を要する子どもに対しての理解が深まるような取り組みや、延長保育時の環境構成には課題を感じており、一部は個人情報保護の観点から解決が困難であると感じているが、今後も引き続き検討を行い、より質の高い保育が展開されるような取り組みに期待したい。

小学校との連携については、年長児の指導計画に就学に向けた内容を盛り込み、保育要録の作成や小学校への引継ぎを行っているが、園の立地の特異性から、小学校との意見交換や交流会等の積極的な連携は難しく、課題を感じている。子どもが安心して就学できるよう、今後のより一層の取り組みに期待したい。

A-1-(3) 健康管理

	第三者評価結果
A ⑫ A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a・ <b>b</b> ・c
A ⑬ A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a・ <b>b</b> ・c
A ⑭ A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	<b>a</b> ・b・c

所見欄

職員は、常に子どもの健康状態の把握に努めており、統一された方法により子どもの健康状態を記録している。定期的に健康診断や歯科検診を行い、保護者にも診断結果を伝えている。アレルギー疾患や慢性疾患等のある子どもについても、国のガイドラインや市のマニュアルに沿って適切に対応している。

今後は、実施している健康管理の方法を文書化する、健康診断や歯科検診の結果を保育計画に反映させる等、より実効性の高い子どもの健康管理を行えるよう、さらなる取り組みに期待したい。



(保育所版)

### A-1-(4) 食事

	第三者評価結果
A 15 A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	Ⓐ・b・c
A 16 A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	Ⓐ・b・c

#### 所見欄

栄養士による食育年間計画を策定し、子どもが季節に合わせて栽培・収穫した野菜を使って献立を作り、子どもが食を楽しみ歓心を持てるような食育を展開している。保護者には、給食だよりを通じて食育の様子を積極的に伝えている。献立表の提供や検食、衛生管理マニュアルによる日常点検のほか、残食の記録や子どもの様子を職員間で共有する、子どもに人気のあった給食のレシピを紹介する等、栄養士が中心となって、子どもがおいしく安心して給食やおやつを食べられるよう、様々な工夫を行っている。

### A-2 子育て支援

#### A-2-(1) 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
A 17 A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	Ⓐ・b・c

#### 所見欄

連絡帳や送迎時の会話等を通じて、家庭の状況の把握や子どもの保育所の様子を保護者と共有するよう努めている。保護者会や保育参加といった保護者と職員が直接関わる機会を設け、家庭からの意見の把握や連携に努めている。

#### A-2-(2) 保護者等の支援

	第三者評価結果
A 18 A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	Ⓐ・b・c
A 19 A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害のある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	Ⓐ・b・c

#### 所見欄

各職員は、登園時に丁寧に視診や触診を行い、子どもの心身の状態を把握するよう努めている。家庭の状況や相談内容については適宜記録し、必要に応じて職員間で共有し、個別の支援を行っている。特に虐待の疑いのある家庭については、園全体で注視および情報共有を行い、絶えず虐待の予防および早期発見・早期対応に努めている。

### A-3 保育の質の向上

#### A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

	第三者評価結果
A ㉔ A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	㉔ a・b・c

#### 所見欄

各職員は、保育計画や保育記録等の文書作成時において、これまでの保育実践を振り返り、課題や改善策を検討している。個人目標の設定や個別面談、研修等のあらゆる方法によって、各職員が主体的に保育実践の振り返りを行う仕組みを構築している。保育実践の改善や専門性の向上に繋がるよう、園全体で積極的に取り組んでいる。